



生活バス乗車中における事故の発生について(第2報) (横路交叉点循環線)

10月16日(水)に発生した、呉市生活バス「横路交叉点循環線」における事故の続報について、情報提供します。

1 事故の概要

(1) 発生日時

令和6年10月16日(水) 11:04頃

(2) 発生場所

中国労災病院バス停

(3) 事故内容

第10便(11:00新広駅発)のバスが中国労災病院バス停で停車中に、乗務員が乗車しようとしていた利用者に気づかず、乗車扉を閉めてしまい、乗車中であつた利用者の左腕が扉に挟まれ負傷し、中国労災病院で診察を受けられました。症状は次のとおりです。

・80代女性：乗車扉に左腕が挟まれた際に打撲

治療費については、運行事業者である富士交通(株)が加入している保険により、全額負担するよう対応予定です。

(4) 事故の原因

中国労災病院バス停には、出発時刻(11:05)より1分程前に到着し、出発時刻となるまで、乗車扉は開けたままの状態での停車していた。中国労災病院バス停到着時に2名が乗車し、時間が少し経過していたことから、他に乗車する利用者はいないだろうと思い込み、ミラーで乗車扉付近の確認を行わないまま乗車扉を閉めてしまったと、運行事業者から報告を受けています。

2 事故発生後の対応

横路交叉点循環線の運行事業者である富士交通(株)を含む全ての生活バス運行事業者に対し、安全確認の徹底についての通知を発出し、周知徹底を図っています。